

城山周辺 散策マップ



天空に渦巻く「かたつむりが城」

上林城址

KANBAYASHI JYOSHI



駐車場から上林城址への入口

上林城址 縄張り図



【京都府中世城館調査報告書】丹波編より（作図：高屋）



交通

綾部駅南口から
あやバス（上林線）で約30分、
「中上林診療所前」下車
登山口まで徒歩10分

古城山の名が残る丘陵の上に、
かつて上林氏の居城・上林城が築かれていました。
上林谷のほぼ中央に位置するこの小高い山上に
構えられた城は、その形状から蝸牛（かたつむり）ヶ城
とも呼ばれ、現在は城址となった頂上から
美しい田園風景が一望できます。



京都府 綾部市

発行 中上林地域振興協議会 綾部市八津合町縄手1番地（中上林公民館内） 開館時間／8:30～17:00（月～金）
TEL: 0773-54-0002 FAX: 0773-54-0385 e-mail: nakakanbayashitiku@maia.conet.ne.jp

KANBAYASHI JYOSHI

上林城址

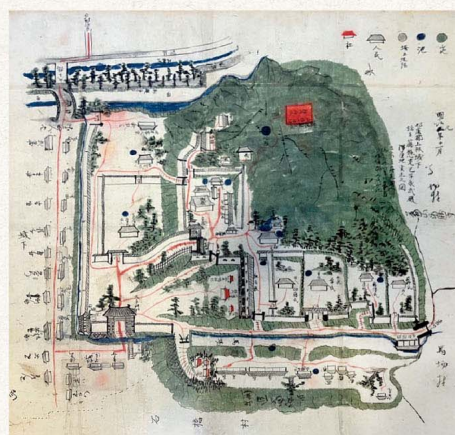
別名、かたつむりが城

山の形からかたつむり 蝸牛ヶ城とも呼ばれていた上林城は、綾部市東部の上林地域に位置し、かつて上林一帯を治めていた上林氏かんばやしの居城でした。中世の山城であるこの城は、生貫山城しょうかんとも呼ばれており、上林谷のほぼ中央に位置する古城山こじょうさんの名が残る丘陵上に築かれていました。標高は199mで、城域は南北約150m、東西約245m。



上林氏から藤懸氏へ

上林氏は、丹波水上郡の土豪赤井氏あかいの一族で、足利尊氏に従って功を立てた赤井秀家が、丹波国何鹿郡上林庄に住み、初めて上林姓を称し、築いた居城が上林城です。時代は16世紀中頃(1520～1570)と推察されます。その後、上林氏は宇治に移り茶業で大成することになります。慶長6(1601)年に藤懸永勝が旗本として上林に入り、6千石を領しました。明治になるまでこの地を治めた藤懸氏は、先の上林城の麓に陣屋を築きました(藤懸陣屋)。



藤懸氏陣屋の図

発掘・調査で全体像が明らかに

城主が2家にわたるため、丘陵には山裾に城館、中腹には曲輪、さらに頂上部に位置する本丸と、それぞれ異なった性格を有する区域にわかれています。昭和53(1978)年から57(1982)年にかけて行われた発掘調査では、約400年にわたって地中に埋もれていた上林城の遺構と遺物が発掘・調査され全体像が明らかとなりました。

住民憩いの城址へ

現在は、石垣・曲輪・井戸などが残るほか、上林城時代の出土遺物で、陶磁器や土器、京都府の暫定登録文化財である陶製猿型水滴等が綾部市資料館に収蔵されています。また、山上には藤懸永勝が大権現として祀られていた稻荷神社があり、平成25(2013)年には、史跡公園化に向けて東屋や遊歩道の整備、樹木の植栽など整備がなされ、山上の城址からは美しい上林溪谷が一望できるようになっています。



頂部の稲荷神社



1336年 足利尊氏が室町幕府を創設
1350年頃 赤井秀家が上林に入部
足利尊氏に従って功を立てた赤井秀家は、上林荘に入部して上林氏を称し、のちに上林城を築城して代々16世紀後半まで城主として治めました。
1575年 織田信長の命を受けた高田治忠が上林城を占拠
1582年 本能寺の変で織田信長が自害
1600年 関ヶ原の戦いが勃発
1601年 旗本藤懸永勝が上林に入部
藤懸氏は織田氏末流の子として生まれ、その後養育された外祖父の姓を名乗りました。藤懸氏は旧上林城の麓に陣屋を構え、明治に至るまで上林の地を治めました。

永勝寺跡

永勝寺は、上林領主で旗本の藤懸永重が、父・永勝(信長、秀吉に仕え晩年上林に入部)の菩提を弔うため寛永5(1628)年に創建したと伝わる臨済宗南禅寺派の寺院。裏山には今も藤懸氏一族の墓や、亀山の仇討ちで有名になる石井半蔵など家臣団の墓が残されています。また、グンゼ創始者の波多野鶴吉翁の墓所もあります。



上林禅寺

藤懸氏の菩提寺である永勝寺(1628年)と、同じ臨済宗南禅寺派の大龍寺(1293年)が昭和42(1967)年に合寺され、永龍山「上林禅寺」に。本尊は観世音菩薩。山号である永龍山は、それぞれの寺名から一字ずつとられています。現在の本堂は永勝寺から移築したもので、堂内の吉田元陳作(1791年)の襖絵が市の文化財であるほか、綾部の古木名木100選のしだれ桜と双子銀杏で有名です。

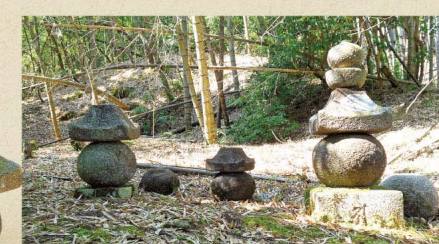


吉田元陳作の襖絵



上林殿塚

上林一帯を治めていた上林氏の墓所。市志集落へ向かう山中の田畑の狭間に苔むした古代墓石があります。茶の栽培を行っていた上林郷では新芽が霜害を受けることがあり、その対策として上林氏が宇治茶業をリードしていく技術、覆下栽培が生まれたと思われます。



上林城址御城印 300円



上林氏の三つ柏紋と、藤懸氏の丸に三文字、二つの家紋と、上林家ゆかりの茶葉をあしらったデザインとなっています。御登城記念にぜひ!

お問い合わせ
綾部市観光協会 TEL 0773-42-9550